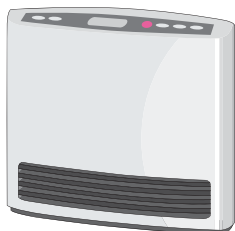


## 冬季の省エネルギー対策について

冬はエネルギー消費が増加する季節です。暖房中の室温は、原則20℃を徹底し、暖房が過度にならないよう気をつける等の省エネルギー対策を実施しましょう。



- ①暖房中の室温は20℃を徹底する等、エネルギー消費について細やかな管理を行い、適切な暖房温度の下で快適に過ごせるよう「ウオーム・ビズ」を励行しましょう。
- ②住宅、ビルの新築、増改築、改修等に当たっては、外壁・窓等を通しての熱の損失の防止を図るため、断熱材の利用、設計・施行上の工夫による熱負荷の低減など、的確な設計及び施行を行いましょ。
- ③太陽光発電システムの設置や、照明機器の購入にあたっては電球形蛍光灯への切替えに努めましょ。
- ④自動車を利用する場合には、エコドライブ（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、アイドリングストップ、タイヤの空気圧を適正に保つ等）の実践を心掛けましょ。

### 町の取組

町では、省エネルギー、新エネルギー導入の一環として、平成21年度には次のようなことに取り組んでいます。

- ①町公用車を2台ハイブリッドカーに更新。（役場公用車、給食運搬車）
- ②幌延小学校への太陽光発電（約20KW）の導入。
- ③その他、庁舎等の消灯の徹底などを実施しています。

## 厳冬期の釣りに伴う事故の防止について

厳冬期を迎え、釣りをを行う際には、海への転落事故や暖を取る際の一酸化炭素中毒など、生命に関わる危険な事故が発生しやすくなります。

事故を未然に防止するため、次のことに注意して慎重な行動を心掛け、安全に釣りを楽しみましょ。

### ●安全に楽しむために

- ・目的地、帰宅の時間などをあらかじめ家族や知人に連絡しておきましょ。
- ・単独行動はできるだけ避けましょ。
- ・目的地の気象状況を事前に確かめましょ。
- ・釣り場では、左右や後ろの人に十分注意ましょ。
- ・釣り場は、海草などで滑りやすくなっているので、十分に注意ましょ。
- ・船釣り、磯釣りの際、救命胴衣は常時着用ましょ。
- ・携行品には命綱、呼び子笛、懐中電灯、非常食、救急薬も加えてください。
- ・車やテントの中で暖を取る場合は、一酸化炭素中毒とならないよう、換気を十分行いましょ。
- ・凍った湖や沼などでワカサギ釣りなどをする場合は、氷の薄い場所には近寄らないようましょ。

## 歩行型除雪機による事故を防ごう！

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作ましょ。

- (1) 作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解ましょ。
- (2) 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、ブロウ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょ。
- (3) 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょ。
- (4) 発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意ましょ。
- (5) 除雪作業中は、雪を飛ばす方向に人や車・建物がいないことを確認ましょ。また、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようましょ。

### ●問い合わせ

社団法人日本農業機械工業会／  
除雪機安全協議会

電話 03-3433-0415

H P

<http://www.jfmma.or.jp>

## 守ります みんなの安全 110番

相談はシャープ（#）  
クイック（9）110番

守ります。  
みんなの安全

110番は、事件・事故などが発生した場合に、警察へ緊急通報するための電話です。

電話に出た警察官の質問に慌てず落ち着いて正しく答えてください。

急を要しない相談や照会などは、警察相談電話「#9110」または最寄りの警察署や交番・駐在所へお問い合わせください。

110番の正しい利用をお願いします。

天塩警察署 01632-2-2110

幌延駐在所 01632-5-1002

